

# 特集 1

## 花巻空港開港 40 周年記念

花巻空港は、昭和 39 年 4 月に東京便が就航してから、今年で 40 周年の記念の年を迎えました。ご案内のとおり、花巻空港は、滑走路 1,200m を有する第 3 種空港としてスタートしましたが、増加する航空需要に対応するため、昭和 58 年には滑走路を 1,200m から 2,000m に拡張し、定期路線も現在では札幌、名古屋、大阪、福岡の 4 大都市と結ばれております。

また、これまでの利用者数は延べ 950 万人に達するなど、本県の高速度交通ネットワークの重要な一翼を担い、着実に発展を遂げてまいりました。これも、ひとえに県民の皆さまや国土交通省、株式会社日本航空ジャパンをはじめとする関係各位の御支援、御協力の賜と、深く感謝申し上げる次第でございます。

最近の国内航空分野におきましては、路線の休廃止や減便が懸念されるなど、地方空港を取り巻く環境は大変厳しくなっております。

そうした中で、県では、空港は 21 世紀における本県の経済や社会活動を支える社会基盤として未来を拓く大事な財産であるとの認識のもと、県民にとってより利便性の高い空港づくりを進めるため、滑走路の 2,500m への延長やターミナル地域の移転・拡張整備を進めており、今年度末には滑走路延長を、平成 19 年度には新ターミナル地域を完成させる予定であります。

さらに、ソフト面では、岩手県空港利用促進協議会などと連携して、旅行商品の造成支援、利用促進キャンペーンの展開などに取り組んでおり、こうしたハード、ソフト両面における取組みにより、空港機能の充実に努めるとともに、利便性の高い空港の実現に努めてまいります。

花巻空港が開港 40 周年を契機として、これまで以上に多くの県民の皆様にご愛され、さらなる飛躍を遂げることを切に望むものであり、関係各位並びに県民の皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。



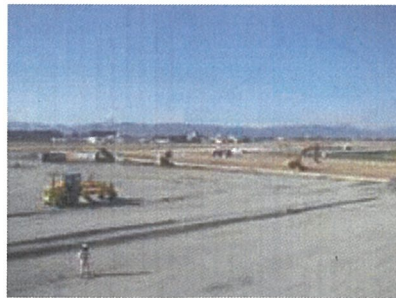
盛大に行われた 40 周年記念式典



家族で空の旅を満喫！(写真：花巻市提供)

### 平成 16 年度工事概要

- ⊕ 滑走路延長部：舗装工事（舗装、グルーピング工等）
- ⊕ 標識工
- ⊕ 灯火工事
- ⊕ ターミナル地域：インフラ整備
- ⊕ 電源施設
- ⊕ 場外排水施設（A 調整池）工事
- ⊕ 平行誘導路部：植生工事
- ⊕ 着陸帯：植生工事
- ⊕ 場周・保安道路工事
- ⊕ 緩衝緑地：用地造成工事



エプロン路盤工

### 親子で空の旅を満喫！

花巻市では、7 月 31 日、8 月 1 日の両日、子供たちに花巻空港をより身近に感じてもらおうと花巻市市制施行 50 周年記念「小・中学生花巻の空遊覧体験飛行」が行われました。

当日は、約 90 組の親子が参加。セスナ機に乗り込むと高度 400 メートルで花巻上空を旋回し、遊覧飛行を楽しみました。

# 昭和

# 花巻空港 40年の歩み

より速く、より遠くへ

39年2月15日

39年4月1日

41年10月1日

46年6月30日

48年11月28日

52年6月1日

54年5月1日

56年4月27日

58年3月1日

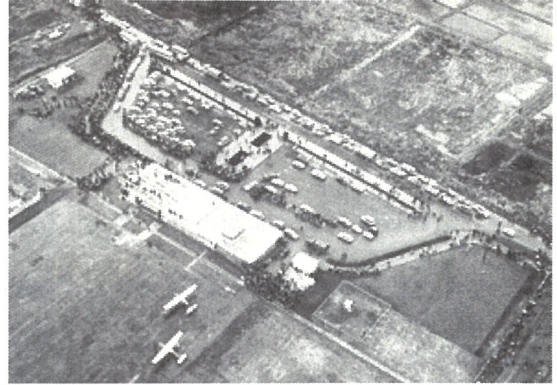
4月1日

11月2日

60年6月10日

7月1日

- 供用開始
- 花巻～東京線開設（コンペア240型機）
- 東京～花巻～八戸線開設（YS-11型機）
- 知事、県議会で拡張計画を表明
- 空港拡張用地の買収開始
- 花巻～大阪線開設（YS-11型機）
- 花巻～札幌線開設（YS-11型機）
- 乗降客数100万人達成
- 2,000m滑走路の供用開始、
- 花巻～東京線ジェット機就航（DC-9-41型機）、
- 花巻～札幌線ジェット機就航（DC-9-41型機）
- 花巻～大阪線の一部（週3便）ジェット機就航（DC-9-81型機）
- 花巻～名古屋線開設（DC-9-41型機）
- 花巻～東京線休止

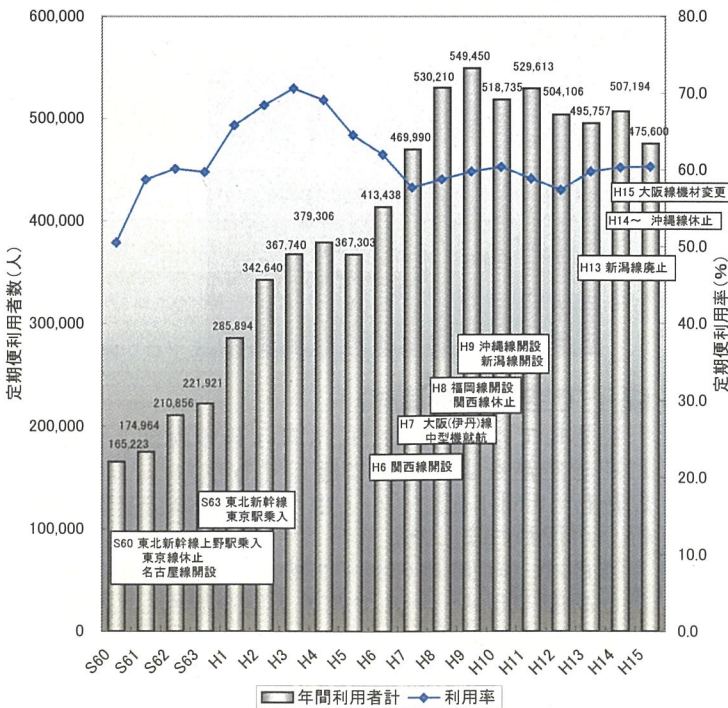


昭和39年3月 開港式



昭和39年3月28日  
一番機に乗り込む乗客

花巻空港年間利用者数推移(定期便)



# 平成

6年9月4日

7年4月1日

4月25日

10月23日

8年6月1日

9月1日

12月13日

9年11月1日

12月27日

10年4月1日

13年3月31日

14年4月1日

15年6月1日

6月21日

- 花巻～関西線開設（MD-81型機）
- 中型ジェット機対応空港として供用開始
- 花巻～大阪線にA300型機就航
- 乗降客数500万人達成
- 花巻～福岡線開設（MD-81型機）（火、木、土運航）
- 花巻～関西線休止
- 第7次空港整備五ヶ年計画に2,500m滑走路の組入れを閣議決定
- 花巻～沖縄線開設（MD-90型機）（冬期間運航）
- 花巻～新潟線開設（JS-31型機）（日～金運航）
- 2,500m滑走路の整備事業着手
- 花巻～新潟線廃止
- 花巻～沖縄線休止
- 花巻～大阪線にCRJ-200型機就航
- 乗降客数900万人達成（チャーター便含む）



昭和58年4月 花巻～札幌線のジェット機就航

# 県民参加 協働事業

## 花巻空港緩衝緑地をつくる会

7月23日（金）、花巻空港の緩衝緑地の整備・管理等について、地域の特色を生かし、地域等と行政が協働し一体となって取り組んでいくことを目的とする「花巻空港緩衝緑地をつくる会」の設立総会が花巻地方振興局長、花巻市長、石鳥谷町長の臨席のもと開催されました。

花巻空港緩衝緑地は、空港施設と空港に近接する周辺住宅地域との間に緩衝地帯として緑地を整備し視覚的な遮蔽効果や景観の向上を図るとともに、周辺の地域住民に安らぎを与えることを目的とし、公園的要素も付け加えレクリエーション活動の場としても利用できるものとして整備するものです。

今回の空港の拡張整備に伴い、花巻空港の緩衝緑地は、既存の約39haに加え、新たに約13haを整備することとしており、併せて約52haになる予定です。

「花巻空港緩衝緑地をつくる会」は花巻空港周辺の次の組織から28名の委員が選出されています。

- ・宮野目地域振興協議会
- ・宮野目区長会
- ・二枚橋地域環境整備推進協議会
- ・花巻空港拡張対策宮野目地権者会
- ・石鳥谷町江曾地区
- ・石鳥谷町直町地区

なお、これらの地区の総世帯数は約2,300世帯にのびります。



また、事務局は委員から1名の他、下記により構成されます。

- ・NPO法人花巻文化村協議会
- ・花巻市企画生活環境部空港周辺整備対策室
- ・石鳥谷町ふるさと未来推進課
- ・花巻空港管理事務所
- ・花巻空港建設事務所（事務局）

設立総会では規約の採択と役員を選出が行われ、緩衝緑地の整備・管理を地域と行政が協働して取り組む体制が整いました。今後はグラウンドワークの実施や整備計画について具体的な話し合いを進めていきます。

## 空の日のお知らせ

9月20日は、「空の日」です。

日本の航空活動は、日野・徳川両陸軍大尉が初飛行を行った、明治43年（1910年）にさかのぼります。

それから30年目の昭和15年（1940年）に、日本の航空の歴史を記念し航空思想の高揚と航空技術の振興を図り、航空日本の将来の発展に努めるための国家的行事を実施すべきとの意向が航空関係者の間で強く要望されました。そのため、9月20日を「航空日」と定め、平成4年にはよりソフトな呼び方の「空の日」とし、各種記念行事を行っています。

16年度の主なイベント（予定）

- ✦ 子供と小型機との綱引き
- ✦ 防災ヘリの救助デモンストレーション
- ✦ 遊覧飛行（有料）
- ✦ ディープブルーズによるアクロバット飛行
- ✦ 鹿（しし）踊り
- ✦ 小型機、ヘリコプターの展示 他

